



広報

# うまじ

第210号

平成15年4月1日発行



## いつもとは少しちがう瞳 きょうは卒園式

(馬路保育所)

お友だちの視線を受けて  
歩み出します

“がんばってね”

園長先生はほほえんで  
ことばを添えた卒業証書を

“はい どうぞ”

育ちの節目にお母さんは涙顔

目次

住まい	自然派・杉の家拝見-----	②③
教育	午後3時のおしゃべりたいむ----	④⑤
国際交流	スウェーデン料理教室-----	⑥
	雨のウインターキャンプ ほか---	⑦
教養	馬路村の歴史と伝説 ほか-----	⑧⑨
	明日の村は私たちの手で！-----	⑩
お知らせ	広報郵送します ほか-----	⑪
	赤ちゃん万歳 ほか-----	⑫
	村のできごと・村内あちらこちら-----	⑬

# 住



居間から和室6帖間をのぞむ

植え込みから玄関へ



## 自然派杉の家拝見

木造住宅は割高になるとの通説がある。本当にそうなのだろうか。馬路林材加工協同組合の乾燥材を主に使い、その他にも自然素材を多く取り入れながら、全体として低価格に押さえたという住宅を見せていただいた。

壁紙の和紙や和室の畳も防虫加工なしの県産ものであり、土台は芯持ちの檜を焼いたものを使用している。現在、自然派健康住宅に明確な基準がないなかで、自らが残り半生を住む家として設計し、施工した住宅である。地域環境と調和した家を、との思いも強くあったという。接着剤や揮発性の塗料などは極力使っていない。

キッチンやユニットバス、トイレ、二ヶ所、合併浄化槽、エアコン二台、カーテンなどすべて備えて建築費用が三千百万円ほどである。延床面積は約五十五坪であり、坪当たりすると五十六万円少々となる。伝統美と実用性を兼ね備えた住宅であるとの印象を受けた。



●西岡建雄 (にしおか たてお)

住宅企画設計施工会社「(株)プレゼ・にじゅういち」を主宰する。従業員6名家を建てたいと思うとき、建築士と額をつき合わせながら家作りを考えていく仕組みを大切にしている。高知県内産の乾燥木材や漆喰、和紙などの自然素材を生かした自社ブランド「土佐匠の家」を開発し、単価を押さえながら70年以上の年月に耐えうる良質の住宅を提供していきたいと考えている。今年には注文住宅受注No.1の地位確保に力を注ぐ。住宅部材の開発にも乗り出し、自宅に使用している屋根パネルやソーラーシステムも注目されている。

↳ 適度な重厚さで迎えてくれる



「馬路村の木だけを使うた家を建てたきいっぺん見にこいや。それも杉の木が主体や」との知らせを受け、われらが広報取材班は二月某日、カメラとメモ帳を引っさげて安芸市へむかう。安芸市立体育館から西へ五十mほど寄った閑静な住宅地の一角に、目指す新築住宅はすぐに見つかる。道路から続く手入れの行き届いた植え込みの間を抜けると、玄関先でにこやかに迎えてくれたのが、家主の西岡氏である。木をふんだんにつかいながらも、ゆったりと空間をとった玄関に立つ。木材に塗装をかけたことから生ずる、よくありがちな照りはない。少し黒味を帯びた杉材の持つ視覚的な重さがほどよ

い落ち着きを与えている。入って右手が居間で、その向こうには和室が一室ある。八寸角の大黒柱をはじめ柱類や造作物もほとんどが杉である。ただ床板のみが桧材を使っている。

部屋は細かく区切らずに動線を

木の家に住むと人は幸せで元気になる！

人は幸せで元気になる！

シンプルにとつてある。広い廊下と各部屋の間に段差を設けない、ドアは引き戸を基本とするなど、少し足が弱くなり車椅子も利用する母親への配慮も欠かせない。南面にむいた広い居間の天井はおおきく吹き抜けて、棟木や母屋に乗

せてあるむきだしの屋根材までが目に入る。「こんなに広かったら暖房が」との問いかけに「そう思うろ、ところがそうじゃないがやきに」としたり顔。

彼の説明によればパッシブソーラーシステムといって、屋根に乗

せた厚さ3cmほどの温室内で暖めた空気を、ダクトを通してファンで床下に送りこみ、一面に打ったコンクリート基礎を温めてそこに蓄熱する方式を採用しているとのこと。冷え込んでくる夜間になればこの基礎コンクリートが自然

に放熱して家全体をほんのりと暖かくするとの説明があった。屋根から基礎部分に通っているダクトに触ってみると確かに暖かい。夏には外の風を足元から天井まで吹き抜かすことよって自然の涼味を存分に採りいれる構造になっているともいう。

「築七十年の前の家もまだ上等やった。けんどおふくろもずいぶん弱ったし、今の人が住むのに便利な、現代の木造住宅を建てたつもり。人は木の家に住むものだとの確信がある。それが人を優しくし、幸せで元気にもさせる」高知高専電気工学科で電子工学や情報処理を学んだ西岡氏の弁で取材をしめくくった。

# 午後3時の

# おしゃべり



3月26日午後3時  
昼下りの就業改善センターでは  
妙齢の3人が談義論発  
少しのぞいてみましょう



畠中智子・はたけなか・ともこ

地域プランナー。「子ども条例作り委員」「赤岡まちづくり委員」など全体的に活躍する一方、PTAの役員として地域を巻き込む楽しい活動を数々企画してきた。  
1男1女のお母さんでもある。

「親って大変」と思っていますか？  
子育てをしている親にとつて  
切っても切れない学校の参観日、PTA活動に  
忙しい、ちよつと煙つたいと背を向けていては  
大きな楽しみを逃すことになる

という話に花が咲きました。

畠中 地域で育つ、地域で育てるとい  
う言葉がありますが、山中さんにとつ  
て自分がそういうことに参加できる場  
はどこですか？私は、PTA活動やと  
思ったのですが。

いろいろやってきたけれど、子どもた  
ちや保護者に会の願いが確実に伝わっ  
ているのかなあとという不安があります。  
それに、新しいうねりを起こそうとす  
ると、やっぱり反発？を感じることに  
あります。

違いを認めあいながら  
楽しく、仲良く

山中 私は「命の教育研究会」のメン  
バーとして、地域で育てるといふこと  
を実践していきたいと思っています。

校長 魚梁瀬では、毎月のPTAの定  
例会にもほとんどの家庭が出席します。

むろん人間関係の問題も、そういう  
陰口もあるだろうが、全体としてま  
まっているのが大きな問題にならない  
んですよ。あまりにも人数が少なく、  
学校は地域が担うものだという考え  
方をみんなが持っているから、うまく  
いくでしょう。

畠中 家庭・学校・地域なんてよく並  
列的に言われるけれど、学校って地域  
の一つじゃないの？

校長 僕は、地域の中の学校と考えて  
います。先生方は地域の住民ですよ。  
土、日であろうと、地域の行事に参加  
するよう話しています。参加すること  
でいつそう地域の学校という意識が高  
まるんじゃないですか。だから、先生  
も子どもも参加するのは当然だと思っ  
ています。

畠中 私もそういう意識の中でPTA  
活動に参加してきましたよ。PTAの  
方が地域のかたがたをよりたくさん巻  
き込むことができるでしょう。多く巻き  
込めば巻き込むほど、だれかの突出した  
エネルギーを使ってくたびれるんじや  
なくて、一人当たりの持ち出しエネル  
ギーが少なくて自然体ですむという考  
えなんです。それぞれが持てる能力を、  
出せるだけの時間を、出せるだけのお  
金を出し、地域全体で学校に、子ども  
たちにかかわれたらステキよねという  
気持ちですうつとやってきたんです。  
山中 楽しまんといけませんよね。畠  
中さんの考え方で取り組めば、楽しさ  
が広がっていくなあと思えました。大  
人だけ楽しむんじやなくて、子どもだ

# 少しのブランク 再び子育て勉強中



## 山中美智 ●やまなか・みち

12年ぶりの子育て、PTA活動に悩みつつ、おらが村命の教育研究会の代表を務める2男1女の肝っ玉母さん。

楽しむんじやなくて、子どもとかかわりながら大人も楽しむ……。  
**畠中** うわあ、すごい！  
**山中** お互いがお互いを認め合って、またその輪を周りに広げて……。  
**畠中** 「ばっかりのばらばら」と言っ  
 て、子どもばっかり、大人ばっかり、  
 母親ばっかり、父親ばっかりという  
 「ばっかりの集まり」の中で何か事を  
 進めようとしても価値観（考え方）が  
 狭いでしょう。お父さん、お母さん、  
 おじいちゃん、おばあちゃん、お店を  
 やっているおじちゃん、おばちゃん、  
 ガソリンスタンドのお兄さん、高校生、  
 大学生……、そして子どもたち。子ど

## 山中理史 ●やまなか・まさふみ

2男1女の子育てもそろそろ終わりがけ、魚梁瀬中学校長として魚梁瀬地区の子育てに取り組むホットなお父さん。

もたちにとってより異年齢なバラバラ  
 な中でやりとりをし合うことが「生き  
 る力」につながっていくんじゃないか  
 な。子どもだけじゃなくて、大人も学  
 んでいくというのがいいじゃない。  
**山中** 地域で支えるということは大事  
 やけん、私自身、親として子どもと  
 向きおうちゅうろうか、仕事や会とか  
 に逃げてないろうか、反省しています  
 が……。  
**畠中** 向き合うべき時期にそれを逃す  
 と後で取り返しがつかない。参観日、  
 こんな美味しい情報提供の場は他に  
 ないと私は考えて、いつも夫婦で参加し  
 たんですよ。子どもの様子、子どもと



# 地域全体で成長を 見守る 魚梁瀬

周りの子どもの関係、先生の授業つ  
 り……、家で子どもと向き合う話題が  
 たくさん手に入りますよ。普段から気  
 軽に話し合う関係を作っていたから、  
 いざというときに親子で話し合えた  
 と思うんです。参観日を利用しないとい  
 うのは、学校への子育ての委託ですよ。  
**校長** よく耳にする、車での送り迎え  
 も学校への子育ての委託。登下校時間  
 に、親以外の大人、家では見かけない  
 昆虫、動物、これらに不意に出会う。  
 人に会ったとき挨拶しよう、トンボが羽  
 化しゆうとき触ったとき飛べんよう  
 になった等、教えられることなく「生き  
 る力」として知ることができる。そう  
 いう機会を送り迎えは奪って  
 います。

**畠中** 車に乗り、ドアをバタ  
 ンとしたとたんに、すべての  
 の機会を奪われ、学校の校門  
 まで家庭の延長になってしま  
 う。親の価値観のみの世界に  
 閉じこめられたまま。自らの  
 世界を広げる場を奪われて、  
 人間関係に悩む思春期をうま  
 く乗り切れるのかなあ。  
 それに、梅の花のにおい、ウ  
 グイスのさえずり……、ここ  
 で育ったという確かな記憶が  
 子どもの中で蓄積されるこ  
 とが大事ですよ。二十、  
 三十……となったときに、  
 僕の育った村はこんな村やっ  
 て言えないのは悲しいです  
 よ。



青年団がスウェーデン料理に挑戦！

# スウェーデン料理教室

料理のことがさっぱり分からない私が料理教室をするなんて、信じられないでしょう？ですが、この前の3月7日に馬路村の青年団と一緒にスウェーデン料理に挑戦しました。「なんでスウェーデン？」と言われて、確かに私はスウェーデン人ではなく、スウェーデンへ行ったこともないし、どんなきっかけでしょう？

12月に家族と一緒に Christmas を過ごすためにアメリカへ帰りました。そのとき、父と一緒にグルーグというスウェーデンの伝統的な飲み物を作りました。グルーグはおもにワインの飲み物ですが、ちょっとウオッカを入れ、いろんな香辛料と沸かし、12時間以上寝かして完成です。熱燗で飲みますので、かなりききます。「これうまいな！ やっぱり、馬路の人も気に入るな。」と思って、馬路へ戻って企画しました。

当日のイベントには私の県内の友だち4人がきてくれて、青年団と一緒においしいスウェーデン料理が出来ました。自分で作ったグルーグもみんながおいしく飲んでくれましたの



国際交流員 ザッカリー・パイパー さん (10)  
(アメリカ・マサチューセッツ州出身)

で一応このイベントは成功と思っています。

残念ながら、スウェーデン料理以外の話はあまり出来ませんでした。その代わりに、ここに簡単なスウェーデンの紹介をします。

スウェーデンの総面積は449,964km<sup>2</sup>で、日本の約1.5倍ですが、人口は約900万人、東京より少ないです。日本のように魚料理が多くて、特にニシンやサケを食べます。それに、辛い食べ物が少ないです。温泉はありませんけど、サウナはいっぱいあります。スウェーデンの社会は日本と似ている集団主義で、スウェーデン語でも「出る釘は打たれる」と同じ意味のことわざがあるそうです。また、これを読むと「大変だ！」と思うかもしれませんが、酒屋は週末に開いていません。さらに、通常の営業時間しか開いていませんので、金曜日に行くとたくさんの人で待つ時間が数時間の場合もあるらしいです。確かに大変ですね！



みんなでおいしいスウェーデン料理を味わいました

# 共有し苦

## 3小学校交流

雨のウインターキャンプ2009



雨二毛負ケズ チャレンジウオーク

中土佐町久礼子ども会、馬路、魚梁瀬の小学生が馬路交流センターに集合し、五、六人の班に分かれ、魚梁瀬に向かって出発です。

二月の冷たい雨が、交流センターをスタートしたとたん皮肉にも降り始め、チャレンジウォークは最悪のコンディション。これも、魚梁瀬の雨男のせいかな？

背中には、お母さんの作ってくれたおにぎりと

カップラーメン、なべやバーナー、シートに行動食(お菓子)、水用のペットボトルなど、かなり重い。

次第に雨脚が強くなる中、それでも足は魚梁瀬に……

班付きの大人は、何も答えてはくれない。全て自分たちで決めるのがこのキャンプのルール。

何事も経験すること、そして、自分たちで考えて行動することで自信や協調性を養うことができると始めたこのキャンプも今回で早三回目。

じゃんけんは禁止。話し合いで問題を解決していくというルールに魚梁瀬子ども会員以外はなかなかなじまない。二日目のPA(プロジェクトアドベンチャー)ゲームのころから、意見の対立を克服したり、協力し合っ

て目的を達成する中で、知らず知らず心と心の触れ合いができた。

あいにく今年雨のため、アクシデントやできないこともあったが、チョコフォンデュ、巻きパン、お昼の焼肉な

カッパ、お天気の満喫でき、楽しいキャンプとなった。

最初は不安で知っている友達の手をしっかりとつないでいた子どもたち。このわばった顔も、帰るころには、みんな笑顔。

自分の目で見、肌で触れ、自分で考えて行動することで、自分でできた、他の人と共にできたという自信や満足で晴れ晴れと笑っていたのだらう。また、来年も子どもを連れて来たい」と言ってくれた久礼の指導者。最高のほめ言葉だった。

魚梁瀬子ども会単独でこのような事業ができるのは、なんといいっても地元青年団が協力してくることに、高知大生や冒険活動で知り合ったスタッフがいることです。魚梁瀬子ども会の活動を、一年かけて皆さんに知ってもらいたいと思っています。私の考えに對し、反論、ご指導、またご支援よろしくお願ひします。

魚梁瀬子ども会 島田 朝彰

## 「かなば編み」に挑戦



## ホットな「ほっと」

デイサービスセンター便り

三月十三日(馬路)、十九日(魚梁瀬)、健康ホットサロンのメンバーがエコアスの「かなば編み」に挑戦しました。写真エコアスの井上博文課長を講師に迎え、作り方の説明を受けて、いざ挑戦です。

(荷造り用幅広テープ)で籠を編んでいる人たちは、初めから「あじろ編み」という高度な編み方に挑戦したり、編み目の間隔をあけて裏から布をはつたりと、それぞれに工夫も凝らして楽しんで作りました。

かなばを扱うのはほとんどの人が初めてだったので、簡単なコースターや壁掛けから始めてみることにしましたが、日ごろから細かい作業が得意なメンバーですので、二時間もしないうちに、それぞれ素敵な作品を仕上げることができました。

# 馬路村の歴史と伝説



馬路公民館長 山中 巖

〈通算第103回〉

## 金林寺薬師堂を中心とした

### 中世・近世の往還

#### 一、南北の道

この道は信仰の道、塩の道、そして文化交流の道として多く利用されています。土佐に熊野信仰が伝わるのは、一般的に見て平安時代末、鎌倉時代初期のものが多く、まず文治二年（一一八六）に紀州から船便で熊野新宮の神を勧請し安田に着き、それから安田川沿いに馬路に着いています。これが相名の熊野神社で、古くは十三社妙見大権現といわれました。この社の永祿六年（一五六三）の棟札に「本願主正吉。金林寺福首」とあり、金林寺との関係も知られます。金林寺と本末関係にある金剛頂寺（西寺）にも、熊野系の若一王子権現（本地十一面観

音）が祀られています。魚梁瀬にも熊野の神は祀られているが、この権現は、平家伝承と熊野信仰を習合させたもので、別当、城福寺は、西寺の末寺で、本尊阿弥陀、鎮守は平家伝承の関係で厳島大明神を祀っています。安田に入ると、熊野信仰はそれほど強くない。中山に北寺があり、本尊は薬師如来です。空海が北寺建立の用材を馬路の山中に求め、安田川を流したおりに、ここに薬師如来の像を刻んだのが北寺の創建としています。これは伝承的であるが、西寺と北寺、さらに金林寺と特別な関係があった事は事実です。北寺は重要文化財の仏像を多く持っています。

安田・東島には法禪寺があり、丘の上に薬師堂を残し、いわば法禪寺跡と呼ばれるべきでありましょう。この寺も、西寺の末寺で、薬師・釈迦・大日の三如来を本尊としています。うち薬師如来は、空海が、馬路山中に用材を求め、一木から三体の薬師を刻んだ伝承を持つものです。文永・弘安の役以後、安田庄の地頭になったと思われる惟宗（安田）氏の菩提寺でもありました。江戸時代の初め、大檀那惟宗氏の没落によって廃寺となります。また六百メートルの朝ヶ丘の山中に、神峰寺があります。本堂は十一面観音を祀り、江戸時代中期まで、参勤交代で東街道を行く藩主から奉幣がありました。明治初年、神仏分離令が出された際、十一面観音は西寺へ移し、寺号を廃して神峰神社とし、下段に新しく寺地を開き再興、これが西国二十七番札所・神峰寺となりました。この道の北端、魚梁瀬は、阿波につづき、尾根は剣山、三嶺につながり、北裏は祖谷、南は物部村・香北町です。この道は信仰の人たちの道、落人・木地師・山師・鋳物師・芸能人・獵師たちの行き帰りの道でありました。

## 馬路村歌壇

初日の出杉の山より輝やけり

八十すぎひつじの年をわが受く

我が畑のほうれん草もきやべつ等も

鶴の奴め箒の如く

貯木場も現状維持はないという

凍てつく空より雪舞う朝に

歩をとめて枯れし川瀬を見下ろせば

追いつ追われつ川鴉二つ

柚子集荷日軽トラックが往き交えば

豊かな村と人は見ゆるか

畝高く溝深く掘り黒き田の

土くれの上に浅春の青

定年後友みなパートに精を出す

我は繁華街をのぞきてあるく

この冬の降りみだるる吹雪の中に

峡の家並の雪にしづもる

薬師堂にて藩政時代の棟札を

きみと読みしが別れとなりぬ

雅子

久子

潔子

安子

源治郎

満

千恵子

佳子

いわお

（檀三宅村文化財調査委員）



## 一、東西の道

野根から奈半利へ至る野根山街道は、約四十キロメートルの道で、異論はありますが、中世には確実に利用されていたと考えられます。この道には、それぞれ支道があり、室戸方面へ、北川方面へ、魚梁瀬・馬路へも通じていました。そして多くの歴史を残しています。すべて書き尽せませ

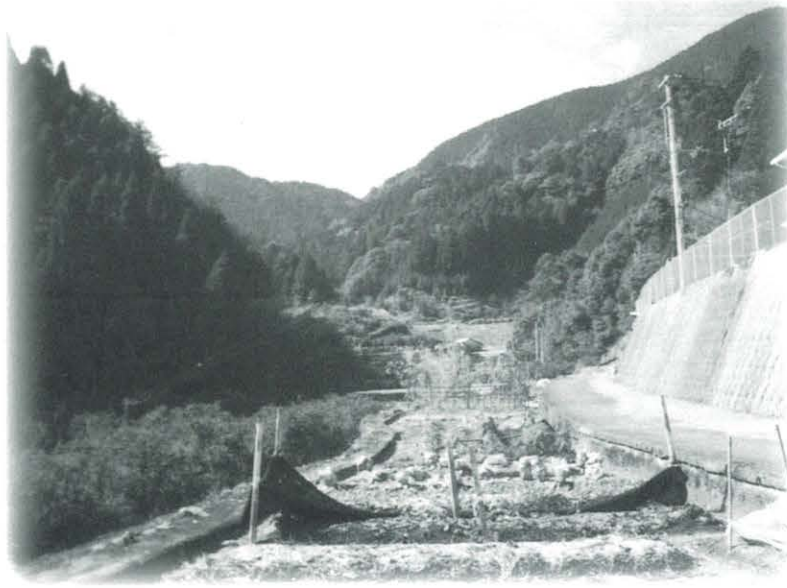
んが、近世の参勤交代、土御門上皇など高貴な方の流された道、文化の土佐へ入ってくる道でした。それは甲浦―阿波―紀州―大阪―京都等へ続く道でした。また、馬路より大谷―山伏峠―竹屋敷―吹越峠―野根・穴喰へ出る道もありました。馬路より西への道は、西谷―一丁山―三軒家―奥栗―伊尾木―安芸へ。また中山の日々入から三軒家へ行

くコース。馬路の日浦・土川から安芸への道もありました。

注(一) 往還―人などが行き来する道

(二) 中世―日本史では鎌倉時代・室町時代

(三) 近世―安土桃山時代・江戸時代をいう



現在の岡崎の道（日浦）

日浦の岡崎（はなじょうり）から市谷（三百年前には民家六軒あり）を経て、中央の峠を越え、逆瀬川を渡り、小川・安田へ行く道がありました。今もあります。

最近まで橋もなく、人・牛がようやく通れる狭い道でした。

## 馬路村俳壇

すかんぼと遊びし友は一人も居ず  
唐紙を開けても開けても一人の冬

喜美栄

初鶏が新聞配達の我に鳴く

梅寒し老いしゆえかと空を見る

雅子

春の草野にあるままに活けにけり

むせかえる洋蘭の中ぐりぬけ

清子

鴉にも帰る山あり春の暮

暖かや七十路果ての影法師

安子

冬の海の入日に見入る路線バス

更くる夜のアルバムに友空き間風

千鶴子

寒村の自立宣言阿修羅仏

うららかや木目くつきり如来像

佳江

竜天に登る板軒まばゆくて

黄砂降る土佐の山寺の太柱

いわお

（金林寺薬師堂）

お願い

村内外の多くの方より、俳句・短歌等のご投稿をお待ちしています。

（村広報編集係）

# 明日の村は、私たちの手で!

馬路青年団・大交流 in 梶原町 3月1日~2日

## 馬路村から梶原町へ

「林君、梶原町へ行こうやいかあ。普段はおとなしく、誘われる側にいる乾貴史君の積極的な行動に私は二つ返事でOKした。」

三月一日、馬路村青年団は梶原町の若者と交流するため、総勢十三名が乾実行委員長



梶原町若者定住委員、青年団との熱い夜

指揮のもと数台の車で梶原町へ出発した。大雨の中、馬路村青年団を梶原町で迎えてくれたのは、

出た。馬路村は独立していくという村の方針が出ていたのでも、そのことについて梶原町の方にも意見を聞いた。

兵庫県西宮市より梶原町へ向かって来ている田中秀典さん率いる若者定住委員と青年団の皆さんだった。今回の交流も田中さんと乾君の企画によって実現したものです。

## 山間部に生きる若者たち

登山は体育館でバレーボールをし、夜は梶原町の持ち交わしにより大交流会となる。自己紹介から始まり、お互いの職業や、村での生活などに、同世代の若者たちの話はとりとめもなく盛り上がった。そこには、お互いの地域が山間部にあり人口も次第に減少しているという同じ悩みを持ち、合併についての話も

交流は終わることなく、宿舎に帰っても続いた。



バレーボールを楽しむ

## 再会を約束する

翌日、三月二日は前日の天気とは違って変わって快晴。田中君たちの案内により、四国カルストへ上がる。道路は二車線だがいかんせんくねくね道。二日酔いの者は車に酔い、しばし車を止めて休憩。頂上からの景色は雄大の一言につきる。気温が低かったことと前日からの天候の変化により、地元の方がさえなかなかに見られない霧氷に遭遇し、初めて見るその美しさにみんな見ほれていた。数時間四国カルストを満喫し、昼食をとり、別れのあい

さつをした。そして再会することを約束し、握手を交わして帰路についた。バックミラーで見えなくなるまで手を振ってくれていた。

◇ ◇

今回、梶原町の青年と交流して多くのことを経験した。それで馬路村の青年同士の絆が深まったと思う。これからもたくさんの人と交流をして、地域の活性化につながれば青年団の役目が果たせる。最後に、今日の準備をしてくれたかたがたに感謝と、急な段取りで行けなかった人たちにおわびをし、ご報告とさせていただきます。

林 義人



雄大な四国カルストをバックに

# 総務課

## キャンプ用テント等を整備

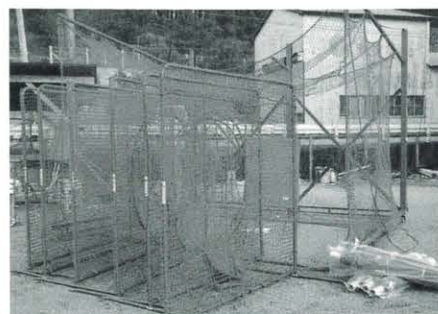
平成十四年度宝くじ助成事業

平成十四年度宝くじ助成事業により、イベント用テント五張、子どもたちの自然体験用としてキャンプ用テント十張を整備しました。

また、スポーツレクリエーションの核である村民グラウンドに、フェンス・ネット等を設置、交流施設には机十脚、椅子三十脚を整備しました。各種事業等に利用されますようお知らせします。



キャンプ用テント



村民グラウンドのフェンス・ネット

# 教育委員会

## 広報うまじを郵送しています

村内に住んでおられる皆さんには、無料でお配りしていますが、ご兄弟や、お子さんなど村出身者が、村外で暮らしている場合に、広報うまじを届けたい、読みたい希望があれば、直接馬路村教育委員会から郵送いたします。

村内に住んでおられる皆さんには、無料でお配りしていますが、ご兄弟や、お子さんなど村出身者が、村外で暮らしている場合に、広報うまじを届けたい、読みたい希望があれば、直接馬路村教育委員会から郵送いたします。

村内に住んでおられる皆さんには、無料でお配りしていますが、ご兄弟や、お子さんなど村出身者が、村外で暮らしている場合に、広報うまじを届けたい、読みたい希望があれば、直接馬路村教育委員会から郵送いたします。

### 発行計画

偶数月の一日付けで、十日ごろ発行。

### 必要事項

届け先の正確な住所と氏名。

### 経費の払い込み

五百円を直接に教育委員会へ持参下さるか、郵便局の定額小為替で郵送下さい。

### 締め切り日までに受け付け

が済んだ方に、郵送により平成十五年六月一日号から一年間六回お届けします。ふる里の便りを広報紙とともに、ぜひいかがでしょうか。

## スポーツ安全保険

## スポーツ安全協会傷害保険 (賠償責任保険付)

区分	対象となる団体	掛金 (1人年額)	傷害保険 (補償額)				賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
			死亡	後遺障害	入院(日額)	通院(日額)		
A	・中学生以下の子ども ・子どもの保護者 (スポーツの指導・審判除く) ・文化、ボランティア、地域活動	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償 1事故500万円 (免責1,000円)	突然死 160万円
B	老人クラブ団体 (60歳以上)	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	上記補償に 身体・財物賠償合算 1事故500万円を加算	対象と ならない
C	成人のスポーツ (高校生以上)	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
AW	中学生以下の子ども (下段は個人活動中の事故の場合)	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償合算 1事故500万円 (免責1,000円)	突然死 160万円
AC	子どものスポーツ団体の指導者	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償 1事故500万円 (免責1,000円)	

※ 本年度からA、AWの掛金が改訂され、また新たに子どものスポーツ団体の指導者を対象としたACが加わりました。老人クラブ団体を対象としたCでは補償額が増額されました。

◎ スポーツ活動中の事故に備え、ぜひとも加入されますよう、お勧めします。

《保険期間》平成15年4月1日から16年3月31日まで (加入受付は3月から)

お問い合わせは 馬路村教育委員会 (4-2216) 役場魚梁瀬支所 (3-2211)

# 赤ちゃん万歳

「パパ・ママといっしょ」



よう た  
**木下 陽太**くん (東川)  
平成14年11月22日生  
(保護者 木下彰二・のぞみさん)



つづみ  
**小松 鼓**くん (影)  
平成14年11月11日生  
(保護者 小松寛史・久美さん)

こんにちは、僕の名前が「鼓」になった理由は、小さかったせいもあり、お母さんのお腹をポンポンとけり、勢いよくポーンと生まれたからなんだって。そして今は、扇兄ちゃんは僕を子分にしたいのか、いつも抱っこしてくれます。唇姉ちゃんは、変な顔をして笑わせてくれます。響兄ちゃんは「起きちゅうほうがかわいいもん！」と僕を起こしてくれます。踏まれたりけられるのが玉にきずだけど、とっても楽しい毎日です。

こんにちは、木下陽太です。まだ四ヶ月くらいだから、お座りなどはできませんが、元気にすくすく育っています。大きくなったらお父ちゃんと一緒に走るのが夢ですが、今のままだと砲丸投げの選手かな。お布団に寝るのは嫌いですが、おんぶは大好きですぐ眠ってしまいます。だんだん重くなったようで、みんな交代してくれれます。暖かい日はよく散歩しますので皆さんかわいがってくださいね。

こんにちは。僕の名前が「鼓」になった理由は、小さかったせいもあり、お母さんのお腹をポンポンとけり、勢いよくポーンと生まれたからなんだって。そして今は、扇兄ちゃんは僕を子分にしたいのか、いつも抱っこしてくれます。唇姉ちゃんは、変な顔をして笑わせてくれます。響兄ちゃんは「起きちゅうほうがかわいいもん！」と僕を起こしてくれます。踏まれたりけられるのが玉にきずだけど、とっても楽しい毎日です。

子ども	性別	父	母	生年月日	地区
坂本 春綺	男	誠	嘉奈子	15・2・25	相名
大野 菜月	女	一幸	美穂	15・3・14	魚梁瀬

## ご出生おめでとうございます

おるおる…。庭先の梅の木、柚子の木にざっと見ても二、三十羽以上のやまがらの群。

「去年の四月ごろ、えさ箱を置いてみた。九月ごろだったかなあ…。それまではえさ箱にくるだけやったのに」目を細めて話す谷井さんの手から、ひまわりの種を上手につまんで飛び去ります。

「一日中、こうやってても、あきん。えさがあるかぎり取りに来る」三、四粒

一度訪ねてみませんか。ここは自然の鳥かご。準備も万端です。

もうすぐ繁殖期、巣穴に適した樹洞が少ないので、孟宗竹の両端をくりぬき、木から釣下げ、営業できる準備も万端です。

雨の日は、外に出なくても軒下まで入ってきてえさをねだる。本当に敏活で、人になれやすく、愛らしい小鳥です。

## フオウオッチング⑱ 谷井清志さん(中川) やまがらは家族の一員



手の平で食事中

## 村内あちらこちら



1月26日～29日 タイで政府開発援助（ODA）に参加



2月14日 魚梁瀬小学校杉の子学習発表会



3月3日 馬路小学校ひな祭り発表会



3月8日 馬路村の木が家になるまで見学会2



3月15日 魚梁瀬中学校卒業式

## 村のできごと

### 《2 月》●

- 8日 ウィンターキャンプ（～9日）  
第21回東部美術展（～11日）
- 14日 魚梁瀬小学校杉の子学習発表会
- 23日 足摺駅伝に馬路村チーム出場
- 28日 森林組合総会

### 《3 月》●

- 3日 馬路小学校ひな祭り発表会
- 8日 馬路村の木が家になるまで見学会2
- 11日 3月定例議会（～19日）
- 15日 村内中学校卒業式
- 20日 村内小学校卒業式
- 22日 魚梁瀬保育所卒園式
- 24日 村内4校修了式  
馬路村庄屋祭・鬼門堂祭
- 25日 馬路保育所卒園式
- 26日 馬路・魚梁瀬PTA合同研修会
- 27日 農業協同組合総会
- 29日 ザイラー・ピアノコンサート

### 編集後記

春らんまん：馬路村がもつとも美しく光り輝く季節を迎えます。少しくすんだ色に変えていた周りの杉木立も、春雨のなかですっかり生気を取り戻し、芯先は川から吹き上げる薫風にしなやかに揺らぎます。人社会では人事異動がこの時期と重なります。好むと好まざるにかかわらず多くの人が新たな任地や職場につきました。五月の憂うつもふわりと風に乗せ空高く飛ばしまししょう。田んぼに張られた水が、初夏の柔らかな日差しをキラキラと反射させるのもまもなくです。自然界の鼓動が人に共鳴して、きつと元気を与えてくれます。

### ◇ おわびと訂正 ◇

広報うまじ2月号で誤りがありました。おわびして訂正します。

- ▽ 2ページ ㊦ 安芸森林管理事務所
- ㊧ 安芸森林管理署魚梁瀬事務所

## 4月・5月 むらの行事予定

日	月	4 月	日	月	5 月
1	火		1	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
2	水		2	金	
3	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00	③	土	憲法記念日
4	金	高知県議会議員選挙告示日 魚梁瀬保育所入園式	4	日	
5	土	元気青年会土佐弁ミュージカル「土佐のシンデレラ」(馬路村就業改善センター) 馬路保育所入園式 ゆず搾汁工場落成式 12:00~ 16:00~17:30	⑤	月	子どもの日
6	日	馬路村観光開き (魚梁瀬丸山公園)	6	火	
7	月	村内4校入学式	7	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00
8	火		8	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
9	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00	9	金	
10	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00	10	土	
11	金		11	日	春の全国交通安全運動 (~20日)
12	土	職域ソフトボール大会	12	月	
13	日	高知県議会議員選挙投票日	13	火	
14	月		14	水	馬路村教育研究会総会 (魚梁瀬多目的施設)
15	火		15	木	魚梁瀬総合健診 (魚梁瀬多目的施設) 8:30~ 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
16	水		16	金	
17	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00	17	土	第8回おはなしの会
18	金		18	日	
19	土	第7回おはなしの会	19	月	
20	日		20	火	1歳6か月児健診 (安田町保健センター) 13:00~受付
21	月		21	水	
22	火		22	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00
23	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00	23	金	
24	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00	24	土	
25	金		25	日	
26	土		26	月	
27	日		27	火	
28	月		28	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00
⑳	火	みどりの日	29	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 子宮がん・乳腺検診 (就業改善センター 9:00~11:30受付) (魚梁瀬多目的施設 13:30~15:00受付)
30	水		30	金	3歳児健診 (奈半利町保健センター) 13:00~受付
			31	土	

3月末の人口  
世帯数 507世帯  
男 591人  
女 619人  
計 1,210人  
(馬路 920人)  
(魚梁瀬 290人)

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL 08874-4-2216 FAX 08874-2-1010

E-mail adress umaji-v@edu.net-Kochi.gr.jp

印 刷：有限会社 大 鳥 (安芸タイプ)